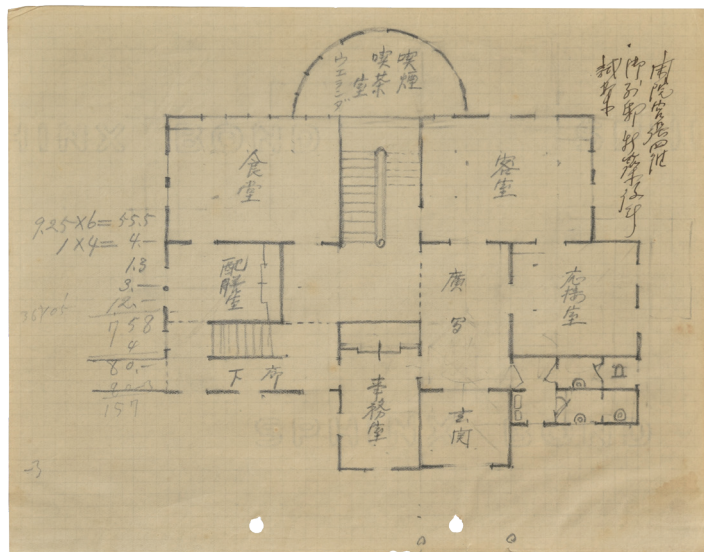


柳井平八関係資料



かみいんのみや

閑院宮強羅御別邸新築設計試案



柳井平八肖像写真

- 〔指定年月日〕 令和六年二月六日
- 〔種 別〕 指定有形文化財（歴史資料）
- 〔名 称〕 柳井平八関係資料
- 〔点 数〕 一三〇九点
- 〔所有者等〕 杉並区教育委員会
- 〔所在地等〕 大宮一―二〇―八（郷土博物館）

指定有形文化財（歴史資料）

柳井平八関係資料

本資料は、杉並区内に居住した陸軍技師・柳井平八（一八八八～一九四五）に関する資料群で、東京高等工業学校（現・東京工業大学）建築科入学前から、陸軍省技師として活動した期間、さらには柳井の死後に及ぶ資料で構成され、時期的には昭和期のものが主である。工業学校時代の授業に伴うデザイン画やノートをはじめ、陸軍技師時代の欧米出張関係資料、柳井が建築技師として関わった建築工事の関係資料のほか、書簡類や図面類、写真、旅行革靴（トランク）・勲章等の遺品類、柳井の葬儀関係資料などがある。

なお、同資料の一部は、平成二二（二〇一〇）年に「渡邊錠太郎及び同邸関係資料並びに柳井平八関係資料」として杉並区有形文化財の指定を受け、翌二三（二〇一一）年に追加指定された資料であるが、新たな渡邊関係資料および柳井関係資料の寄贈に伴い、前記指定資料より柳井平八の関係資料を分離・独立させ、令和五（二〇二三）年に寄贈された柳井平八の関係資料を含め、新たに杉並区有形文化財に指定した。柳井平八の学生時代から死後に及ぶ資料であることから、柳井の生涯や周辺、陸軍省建築技師としての活動内容を理解

する上で、欠くことのできない資料である。同時に、杉並区内に居住した人物および陸軍省技師の一事例を示す資料としても貴重である。

【文化財所在地】 杉並区立郷土博物館

